

不利益処分一覧

				部局名	教育委員会
				課 名	都城島津邸
No.	根拠	根拠規定の名称	条項	不利益処分の内容	
1	例規	都城市都城島津邸条例	第9条	退館命令	
2	例規	都城市都城島津邸条例	第13条	伝承館施設の利用許可の取消し等	
3	例規	都城市都城島津邸条例	第8条	観覧料の徴収	

処分基準整理票

	基準所管課	部 局 名	教育委員会
		課 名	都城島津邸
	No.		1
処 分 権 者	教育委員会		
不 利 益 処 分 の 内 容	退館命令		
根 拠 規 定 / 基 準 規 定	規 定 の 名 称	条 項	
根 拠 規 定	都城市都城島津邸条例	第9条	
基 準 規 定	都城市都城島津邸条例 都城市都城島津邸条例施行規則 都城市暴力団排除条例	第9条 第20条 第8条	
処 分 基 準	<p>【都城市都城島津邸条例】 (入館の制限) 第9条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、都城島津邸への入館を拒否し、又は退場を命ずることができる。 (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあると認められるとき。 (2) 他人に危害を及ぼし、又は他人の迷惑になる行為をするおそれがあると認められるとき。 (3) 都城島津邸の施設又は展示品等を損傷するおそれがあると認められるとき。 (4) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあると認められるとき。 (5) 前各号に掲げるもののほか、管理運営上支障があると認められるとき。</p> <p>【都城市都城島津邸条例施行規則】 (遵守事項) 第20条 入館者は、次に掲げる事項を守らなければならない。 (1) 建物、施設及び伝承館史料その他の備品を汚損し、若しくは損傷し、又はそのおそれのある行為をしないこと。 (2) 竹木及び植物を伐採し、採取し、又は持ち込むこと。 (3) 土地の形質を変更すること。 (4) 鳥獣類を捕獲し、又は殺傷すること。 (5) はり紙若しくははり札をし、又は広告を表示すること。 (6) 立入禁止区域に立ち入ること。 (7) 所定の場所以外で飲食し、又は火気を使用しないこと。 (8) 身体障害者補助犬法（平成14年法律第49号）に規定する身体障害者補助犬以外の動物又は危険物を持ち込まないこと。 (9) 許可なく物品等の販売、宣伝、あっせんその他の営利行為をしないこと。 (10) 許可なく金品の寄付募集の行為をしないこと。 (11) 他人に迷惑となる行為をしないこと。 (12) 火災、盗難、人身事故その他の防止に努めること。 (13) 前各号に掲げるもののほか、管理上の必要から職員の行う指示又は指導に従うこと。</p> <p>【都城市暴力団排除条例】 (公の施設の利用における制限) 第8条 市長、都城市教育委員会（以下「教育委員会」という。）又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により指定された法人その他の団体は、市が設置した公の施設のうち、多人数を収容できる会議場、集会場、その他これらに類する施設の利用が、暴力団を利用することとなると認めるときは、当該施設利用を許可せず、又は当該利用の許可を取り消すことができるよう必要な措置を講ずるものとする。</p>		
聴 聞 ・ 弁 明 手 続	適用除外（都城市行政手続条例第13条第2項第1号）		
基 準 設 定 日	平成29年12月28日		
最 終 更 新 日	令和元年10月1日		

処分基準整理票

	<table><tr><td rowspan="2">基準所管課</td><td>部 局 名</td><td>教育委員会</td></tr><tr><td>課 名</td><td>都城島津邸</td></tr><tr><td colspan="2">No.</td><td>2</td></tr></table>		基準所管課	部 局 名	教育委員会	課 名	都城島津邸	No.		2
基準所管課	部 局 名	教育委員会								
	課 名	都城島津邸								
No.		2								
処 分 権 者	教育委員会									
不 利 益 処 分 の 内 容	伝承館施設の利用許可の取消し等									
根 拠 規 定 / 基 準 規 定	規 定 の 名 称	条 項								
根 拠 規 定	都城市都城島津邸条例	第13条								
基 準 規 定	都城市都城島津邸条例 都城市都城島津邸条例施行規則 都城市暴力団排除条例	第13条 第10条 第8条								
処 分 基 準	<p>【都城市都城島津邸条例】 (伝承館施設の利用許可の取消し等) 第13条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する場合は、前条に規定する許可をせず、又は既にした許可を取り消すことができる。 (1) 利用者が伝承館施設の設置目的に反する利用をし、又はそのおそれがあるとき。 (2) この条例若しくはこの条例に基づく規則の規定に違反し、又はそのおそれがあるとき。 (3) 前2号に掲げるもののほか、伝承館施設の管理運営上支障があると認められるとき。</p> <p>【都城市都城島津邸条例施行規則】 (利用許可の変更及び取消し) 第10条 都城島津邸内の施設の利用許可を受けた者が許可を受けた事項を変更しようとするとき、又は利用の取消しをしようとするときは、都城島津邸施設利用許可変更・取消申請書(様式第5号)に利用許可書を添えて、あらかじめ教育委員会に提出しなければならない。 2 教育委員会は、前項の規定による変更の申請を適当と認めたときは、都城島津邸施設利用変更許可書(様式第6号)を交付するものとする。</p> <p>【都城市暴力団排除条例】 (公の施設の利用における制限) 第8条 市長、都城市教育委員会(以下「教育委員会」という。)又は地方自治法(昭和22年法律第67号)第244条の2第3項の規定により指定された法人その他の団体は、市が設置した公の施設のうち、多人数を収容できる会議場、集会場、その他これらに類する施設の利用が、暴力団を利用することとなると認めるときは、当該施設利用を許可せず、又は当該利用の許可を取り消すことができるよう必要な措置を講ずるものとする。</p>									
聴 聞 ・ 弁 明 手 続	聴聞									
基 準 設 定 日	平成29年12月28日									
最 終 更 新 日	—									

処分基準整理票

		基準所管課	部 局 名	教育委員会
			課 名	都城島津邸
		No.	3	
処 分 権 者	市長			
不 利 益 処 分 の 内 容	観覧料の徴収			
根 拠 規 定 ／ 基 準 規 定	規 定 の 名 称		条 項	
根 拠 規 定	都城市都城島津邸条例		第8条	
基 準 規 定	都城市都城島津邸条例 都城市都城島津邸条例施行規則		第8条 第7条	
処 分 基 準	<p>【都城市都城島津邸条例】 (観覧料) 第 8 条 都城島津邸の観覧料は、別表のとおりとする。 2 都城島津邸において特別な展示（以下「特別展示」という。）を行うときは、有料とすることができる。この場合において、特別展示の観覧料の額は、教育委員会がその都度定めるものとする。</p> <p>【都城市都城島津邸条例施行規則】 (観覧券等の交付) 第 7 条 本宅、伝承館展示室又は特別展示を観覧しようとする者は、条例第 8 条第 2 項の規定に基づく観覧料の納付と引換えに観覧券の交付を受けなければならない。 2 教育委員会は、観覧を希望する者からクーポン券その他観覧料を後納することを証する書面で市長があらかじめ適当と認めるものの提出があったときは、その者について観覧料の納付があったものとみなす。 3 教育委員会は、必要があると認めた場合は、招待券を発行することができる。</p>			
聴 聞 ・ 弁 明 手 続	適用除外（都城市行政手続条例第13条第2項第4号）			
基 準 設 定 日	平成29年12月28日			
最 終 更 新 日	平成30年10月1日			